

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 2018年度通常総会 報告

日時：2018年5月20日 14時から15時10分まで

会場：東京都国分寺労政会館 3階 第3会議室

司会：鬼倉正敏(事務局)

1 理事長挨拶

設立から11年目を迎えることとなり、会員の皆さん、そして本日参加された皆さんのご支援・ご協力に感謝している。

本日は、活発な意見交換が行われることを期待している。

2 総会成立（定足数）の確認

正会員総数：86（個人84名、団体2団体）

定足数（正会員総数×1÷2）：43

出席者24、委任状出席40、合計64で定足数を満たしており、総会は成立。

3 議長の選出

立候補者なし。事務局に一任。座間直壯氏を選出。

4 議長挨拶

配布している「次第」により進めていきたいので、議事進行に協力を願う。

5 書記及び議事録書名人の選出

議長の指名による。

書記：雨谷逸枝氏(事務局)

議事録署名人：齊藤誠一氏、堀越洋一郎氏

6 議事

(1) 第一号議案 2017年度事業報告承認について

説明（堀 渡 事務局長）

※議案書(事前に郵送配布)に沿って説明

- ・昨年度から共同保存事業を（1）バーチャル、（2）リアルと分けて取り組みをすすめている。
- ・バーチャルな共同保存図書館の面では、昨年度公開した「活用マニュアル」も用いながらTAMALASシステムを広めることを課題として、国分寺市と調布市で東京都市町村立図書館長協議会の第2ブロックと京王沿線連携7市対象の研修会を行うことができた。(株)カーリルとはさらに「TAMALAS一括処理」を開発し、2018年3月には「TAMALAS一括処理利用規定」を多摩地域の市町村立図書館に案内できるところまでできている。
- ・リアル共同保存図書館という面では、「スペースの確保」を考える参考にと中古書店である(株)バリューボックスの事業倉庫の見学会を行ったが、公共図書館でISBNなし資料を保存する取り組みの必要性を再認識することになった。都立図書館との連携の道を探るため、国分寺市に移転した都立多摩図書館長の新館長に要望を伝えた。
- ・図書館資料の里親探しについては、きめ細かな案内をすることにより、都立を含む10自治体へ184冊の譲渡が成立した。都立分については提供館から協力車を使った直接送付

が認められた。

- ・総会での永江朗氏の講演は、現在ブックレット化の準備を進めている。
- ・多摩デポ講座の見学会には、会員外の参加者や研修扱いでの参加者もあった。
- ・「多摩デポ通信」は、第42～45号を発行。「多摩デポブックレット」は第11号として『書物の時間 一書店店長の想いと行動』を発行した。また、「多摩デポパンフレット」の改訂を行い、現在の最新版は2018.8版である。
- ・ホームページはスマホ対応などのリニューアルに着手した。
- ・メーリングリストは多摩地域の図書館関係の情報交換の手段として利用されている。

質疑 なし

採決 拍手多数（承認）

（2）第二号議案 2017年度決算報告及び監査報告承認について

説明（田中ヒロ 会計）

※議案書に沿って説明。

- ・会費は、昨年度中の前払いや過去分の払い込みがあり、現会員数と合致しない金額になっている。「多摩デポ通信」送付時などに払込票封入を行い、未納者数は一桁。
- ・経常外収益の100円は、年間の法人税を計算して未払い法人税として計上した額と、確定申告後の実際の納税額との間に差額が生じたため、その差額を決算処理時に資産に繰り入れたもの。

監査報告

監事が都合で出席できず、司会が「適法かつ妥当と認める」との「監査報告書」を代読した。

質疑 なし

採決 拍手多数（承認）

（3）第三号議案 2017年度事業計画決定について

説明（堀 渡 事務局長）

※議案書に沿って説明

- ・TAMALAS及びTAMALAS一括処理システムにより、ISBNあり資料の所蔵状況調査の効率化が可能になってきたため、希少タイトルの保存実践の普及を図っていく。また、ISBNなし資料の機械的な同定識別の可能性の研究を(株)カーリルとともに進めていく。
- ・独自にリアルな共同保存図書館実現を探ると同時に、都立図書館には、「広域行政の視点から資料の相互貸借や共同保存の要となる」というミッションの実現を求めている。
- ・図書館資料の里親探しについては、TAMALAS一括処理システムと関連付けてPRを行うよう工夫していく。
- ・本日の総会記念講演のブックレット化を第13号として行い、永江朗講演を元にした第12号とともに年度内に発行する。
- ・「東京都多摩地域公立図書館大会」等の集会やイベントには、多摩デポのテーマと合致すれば積極的に参加する。
- ・館長協議会が発足させた除籍実務担当者会に注目し、協力や連携を探っていく。
- ・ホームページは、スマホ対応を含め、新サイト構築を準備・実行する。
- ・会員の拡大については、特に現役世代への広がりや館長会での理解者の増加を目指す。

質疑 「多摩デポ通信」の第1面に目次欄を設けること、及び、その体裁は横書きにすることを検討してほしい。

回答 検討します。

採決 拍手多数（承認）

(4) 第四号議案 2018年度活動予算決定について

説明 (田中ヒロ 会計)

※議案書に沿って説明

- ・経常収益は会員数の増加を見込んだ額とした。
- ・ブックレットは2冊発行予定のため、過去の実績見合いで支出・収入を計上した。
- ・事業費の旅費交通費が2017年度の支出実績より少ないのは、他県への出張の予定がないためである。

質疑 なし

採決 拍手多数 (承認)

(5) 第五号議案 特定非営利活動促進法の改正等に伴う定款の変更について

説明 (吉田光美 事務局員)

議案書16から17ページの新旧対照表に示したとおり変更を行いたい。これは、一つには特定非営利活動促進法の改正に伴う変更、また、当法人の運営の円滑化・効率化を図るための変更、あわせて表記の整合性を図るための修正をして定款の形を整えるものである。

質疑 なし

採決 拍手多数 (承認)

7 議長及び書記の解任

8 閉会

以上